



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

愛知県支部

日赤あいち

No. 151

2022. 夏

- ▶ 令和3年度決算概要
- ▶ 10代夏の献血キャンペーン
- ▶ 日本赤十字豊田看護大学オープンキャンパス 2022
- ▶ 赤十字奉仕団ボランティアリレー
「愛知県赤十字国際人道法普及奉仕団」



CLOSE UP

一緒に遊び、
学ぶことで広がる
多文化共生

―名古屋オーシャンズとともに
フットサル教室＆「やさしい日本語」
でのAED講習―

ボランティアとして活躍する奉仕団がリレー方式で登場



赤十字奉仕団

バトンタッチ!

ボランティア リレー



愛知県赤十字
国際人道法普及奉仕団

こんな活動をしています

国際人道法を多くの人に知っていただきたい!

私たちの奉仕団の始まりは、平成9年の愛知県支部主催の国際人道法の研修会までさかのぼります。この研修会を修了した後も、もっと学びたいという思いを持つ受講生たちで「ふうせんの会」という自主的な集まりを結成して学んできました。

そして、学んだことを生かそう、との思いから、奉仕団の結成を愛知県支部に申し出て、平成25年に愛知県赤十字国際人道法普及奉仕団として活動をスタートしました。

現在の主な活動は、国際人道法をわかりやすく理解してもらうためのミニ本作りです。ミニ本はA4用紙1枚を8コマに区切り、タイトル1コマと内容7コマに簡潔にまとめたものです。これまでに10種類のミニ本を作りました。

イチオシポイント

ミニ本を通じて赤十字を広めたい!

ミニ本のことを赤十字関係の方はもちろん、一般の方にも広め、少しでも赤十字の活動を知ってもらえるようにしたいです。

団員はミニ本をいつも持参しており、機会があればミニ本をもとにお話ができるように努めています。また、今年度からは各奉仕団への出前講座も行っていきたいと思います。

今後も赤十字の活動をミニ本にしていきたいと思っており、今年度は愛知県支部の活動を取り上げます。また、特殊奉仕団や地域奉仕団の皆様のご協力をいただき、各奉仕団の特徴をミニ本にまとめていけたら、と思っています。

一般の方の中には、赤十字の活動について献血や義援金・救済金の募集など、断片的にしか知らない方もいらっしゃいます。国際人道法をはじめ赤十字のさまざまな活動を一人でも多くの方に知ってもらい、ご理解・ご協力いただけるように活動していきたいと思っています。



活動資金 ご協力ありがとうございます

日本赤十字社愛知県支部へ活動資金として
多額のご寄付をいただいた法人様

- ▶ 三協化成産業株式会社 様
- ▶ スズラン株式会社 様
- ▶ 木村建設株式会社 様
- ▶ ヒダ電気株式会社 様
- ▶ 江口光株式会社 様
- ▶ 株式会社ミニミニグループ 様
- ▶ 株式会社マクシスエンジニアリング 様

PRESENT

名古屋オーシャンズ タオルマフラー

プロフットサルチーム名古屋
オーシャンズのロゴ入りタ
オルマフラーです

5
名様



Mail: aichi-koho@aichi.jrc.or.jp

Fax: 052-971-1586

郵 送: 〒461-8561 名古屋市東区白壁 1-50
日本赤十字社愛知県支部「日赤あいちプレゼント」係

①お名前 ②郵便番号・ご住所 ③電話番号
④年齢 ⑤「日赤あいち」の入手先 ⑥ご意見・ご感想など

締切/令和4年8月31日必着

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

愛知県支部

日赤あいち

〒461-8561 名古屋市東区白壁 1-50 TEL 052-971-1591 (代表)

発行元/日本赤十字社愛知県支部 発行日/令和4年7月1日



活動の詳細や
最新情報は
ウェブサイトか
SNSへ

日赤あいち

検索

https://www.jrc.or.jp/chapter/aichi/



NISSEI.AICHI

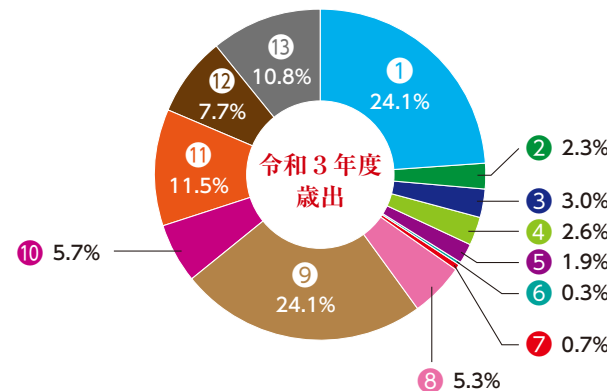
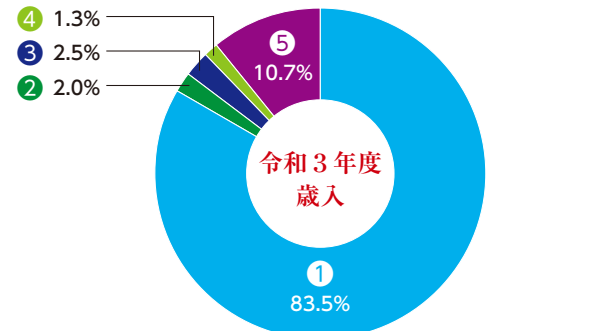
令和3年度日本赤十字社愛知県支部一般会計歳入歳出決算

令和3年度、愛知県支部では個人・法人の皆さまからいただいた会費(社費)や寄付金を主な財源として、災害救済事業をはじめとした人道支援活動を実施しました。日本赤十字社代議員会で承認されましたので報告します。

歳 入		
内 訳	決算額	
① 社費収入	1,454,785,320 円	83.5%
② 委託金・補助金及び交付金収入	34,419,223 円	2.0%
③ 資金繰入金	44,222,297 円	2.5%
④ 資産収入・雑収入	23,108,739 円	1.3%
⑤ 前年度繰越金	187,229,964 円	10.7%
合計	1,743,765,543 円	100.0%

歳 出		
内 訳	決算額	
① 災害救済事業と救護看護師の養成に	364,450,487 円	24.1%
② 救急法や健康生活支援講習などの普及に	34,523,275 円	2.3%
③ 赤十字ボランティアの活動と育成に	46,317,165 円	3.0%
④ 青少年赤十字の育成と普及に	39,138,492 円	2.6%
⑤ 社会福祉事業などに	28,141,222 円	1.9%
⑥ 血液事業の普及啓発に	4,609,896 円	0.3%
⑦ 国際的な活動に	10,262,000 円	0.7%
⑧ 広報・活動資金募集のために	80,077,697 円	5.3%
⑨ 赤十字病院救急医療体制の整備に	364,296,299 円	24.1%
⑩ 市町村における赤十字活動に	86,549,438 円	5.7%
⑪ 全国的な赤十字活動に	173,653,001 円	11.5%
⑫ 支部の運営に	116,919,251 円	7.7%
⑬ 災害への備えに(積立金)	163,957,530 円	10.8%
合計	1,512,895,753 円	100.0%

* 歳入歳出差引額230,869,790円は翌年度の継続事業のために繰り越されました。



PICK UP

災害救済事業と救護看護師の養成

中部8県支部合同訓練をオンラインで各支部を繋ぎ、常時情報共有して行うなど新たな取り組みを実施したほか、救護班要員研修等の実施、救護用資機材の整備等を行いました。また、優秀な救護員としての赤十字看護師を安定的に確保するため、奨学金制度等により救護看護師の養成を行っています。

救急法や健康生活支援講習などの普及

コロナ禍で対面式の講習が難しい状況に対応するため、また、従来の集合型研修への参加が難しい方にも自宅で講習に参加いただけるよう、オンラインやDVDなど新たな方法を用いて講習会を開催しました。



【オンライン講習の様子】

赤十字ボランティアの活動と育成

赤十字ボランティアによる新型コロナウイルスワクチン大規模接種会場での来場者支援、日赤が作成した差別・偏見予防のためのテキストを用いた小学校での特別授業、地域における子どもの居場所づくりや困難を抱える子どもの支援のための子ども食堂など様々な活動を実施しました。



【赤十字奉仕団による子ども食堂】

社会福祉事業など

新型コロナウイルス感染拡大に対する緊急対策事業として、児童養護施設や外国にルーツのある子どもが通う外国入学校・日本語教室に対して、ウイルス除去対応の空気清浄機を配備しました。また、コロナ禍で浮き彫りとなった社会課題の1つ「生理の貧困」について、国や自治体による支援体制が整うまでのつなぎとして、各地区区分の協力のもと、生理用品の配布事業を行いました。



【生理用品と一緒に配布したメッセージカード】

※事業報告の詳細については、日本赤十字社愛知県支部ウェブサイトでご覧いただけます。

